


2. ビブリオ科 (Family *Vibrionaceae*)

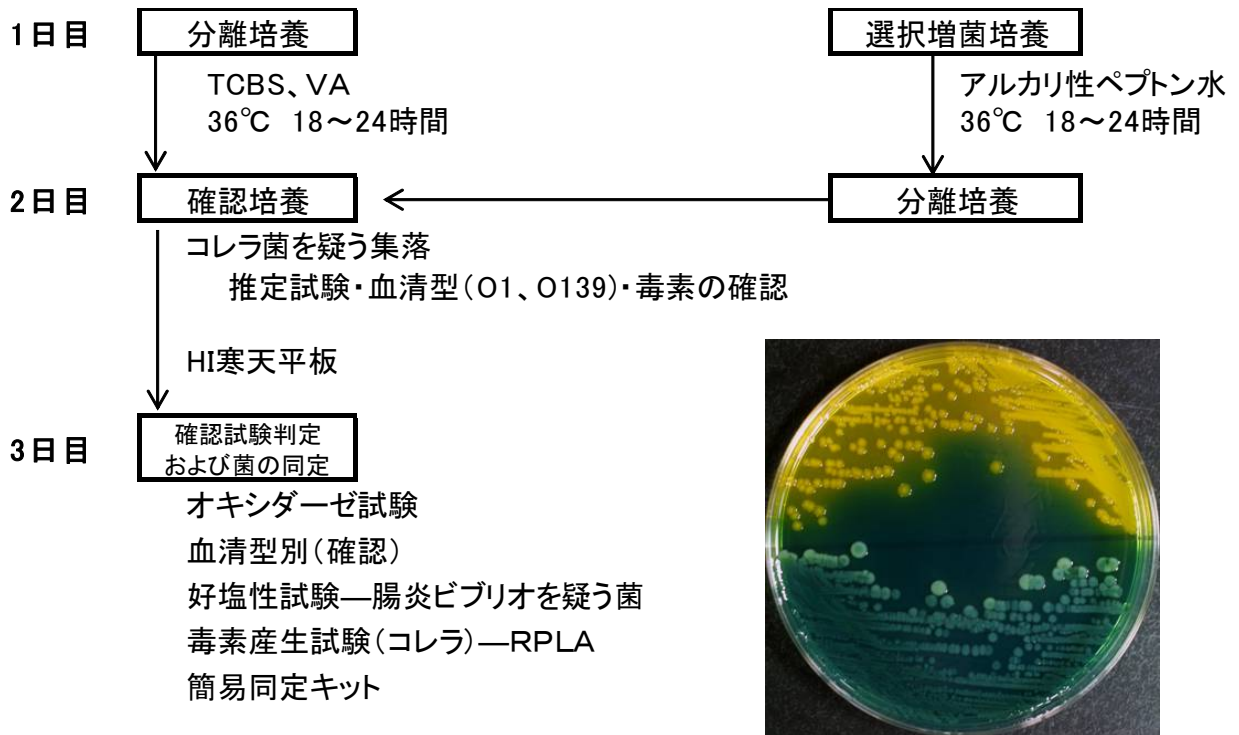
(1) ビブリオ属 (Genus *Vibrio*)

- ・腸内細菌と類似した性状を示すが、オキシダーゼを産生し好塩性である点が大きく異なる。
- ・ビブリオ属 (Genus *Vibrio*) には三類感染症にコレラ菌 (*V. cholerae*)、五類感染症に含まれる腸炎ビブリオ (*V. parahaemolyticus*) など食塩を好む海水性の菌種が分類され、これらの細菌は食中毒の原因菌でもある。
- ・分離用培地としては TCBS (thiosulfate-citrate-bile salt-sucrose) 培地、ビブリオ寒天培地などがある。食塩濃度が普通の培地 (0.5%) に比べて高く、また、普通の培地が pH7.2 程度に比べ、pH8.4-8.8 とアルカリ性である

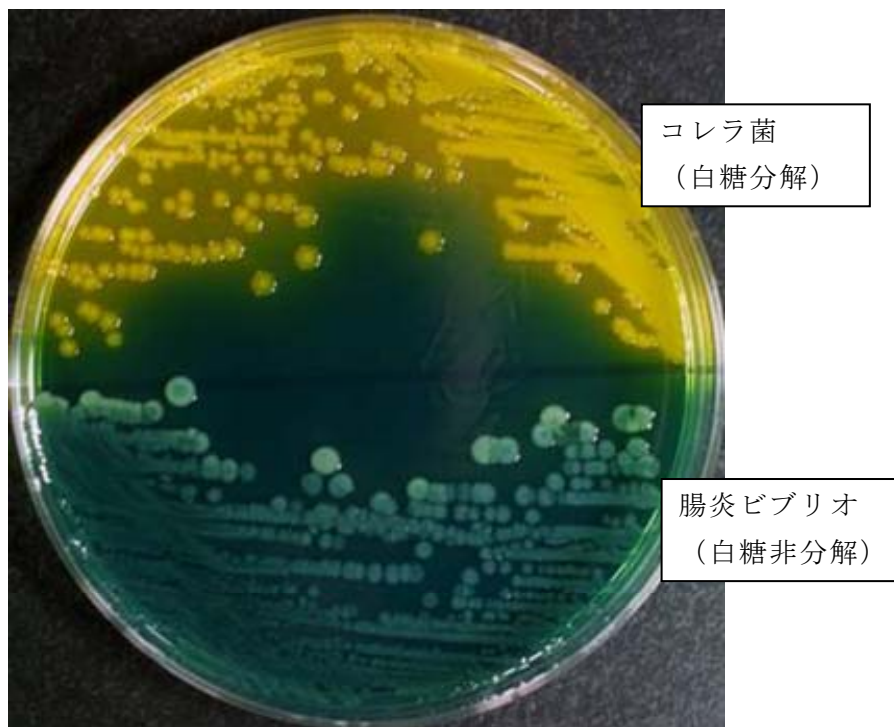
- 
- ・腸炎ビブリオ (*V. parahaemolyticus*) は、日本で初めて菌の分離に成功し、命名された菌である。
 - ・1951年、藤野によって *Pasteurella* 属として初めて報告され、*Pseudomonas* 属の後、*V. parahaemolyticus* と命名 (坂崎、福見ら) された。
 - ・昭和30年 (1955年) 8月、国立横浜病院 (当時) で入院患者539名および病院職員275名中120名が食中毒症状を起こした。検査室で黄色ブドウ球菌の検査を行っていた中橋は、この緊急事態にブドウ球菌に使用する4%食塩寒天培地に患者便、血液等を培養したといわれている。これが、腸炎ビブリオ培養の先駆けとなった。
 - ・腸炎ビブリオは食塩が少ない培地では発育することができない。3%の食塩が至適濃度である。

(「腸炎ビブリオ物語」に詳細)

(2) *Vibrio* 属菌の検査



TCBS 培地上のコレラ菌と腸炎ビブリオ



TCBS 培地：白糖と指示薬として BTB を含む